

インナー大会プレゼン部門 2018 専用企画シート

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

大学名 (フリガナ)	学部名 (フリガナ)	所属ゼミナール名 (フリガナ)
フリガナ) レイタクダイガク	フリガナ) ケイザイガクブ	フリガナ) ナカジマゼミ
麗澤大学	経済学部	中島ゼミ

※大会申込書時に記入したチーム名から変更することはできません。

※パワーポイント内に動画を使用している場合は「有・無」を記入し、「有」の場合は使用するスライド番号も記載してください。

チーム名 (フリガナ)	代表者名 (フリガナ)	チーム人数 (代表者含む)	PPT 内動画 (有・無)	動画使用 スライドページ
フリガナ) ナカジマゼミビーチーム	フリガナ) ミヤシタヒロム	4	無	
中島ゼミ B チーム	宮下啓			

※当日使用する PC、マイク、レーザーポインター機能付きワイヤレスプレゼンターは会場に準備しております。

これらは個別にご用意いただいても大学施設・設備の関係上ご利用いただけませんのであらかじめご了承ください。

発表時に使用する成果物 (例: 商品化した●●、店舗で配布したパンフレット、調査時に使用したアンケート)

サービス付き高齢者向け住宅麗しの杜光ヶ丘で行ったインタビュー、スライドにて掲載

※成果物の配布は、『禁止』とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

研究テーマ (発表タイトル)

シニア向けスマホでキャッシュレス化を

※必ず<企画シート作成上の注意>を確認してから、ご記入をお願いいたします。

1. 研究概要 (目的・狙いなど)

伸び悩む日本のキャッシュレス化を促進させるために、シニア層が多く所有しているシニア向けスマホに着目し、シニア向けスマホにキャッシュレス機能を搭載することで問題解決を図る。

シニア層に対し、簡単でわかりやすく使いやすいを第一に考えて機能を加えることにより使用者の増加を目指し、利便性の向上を目指す。

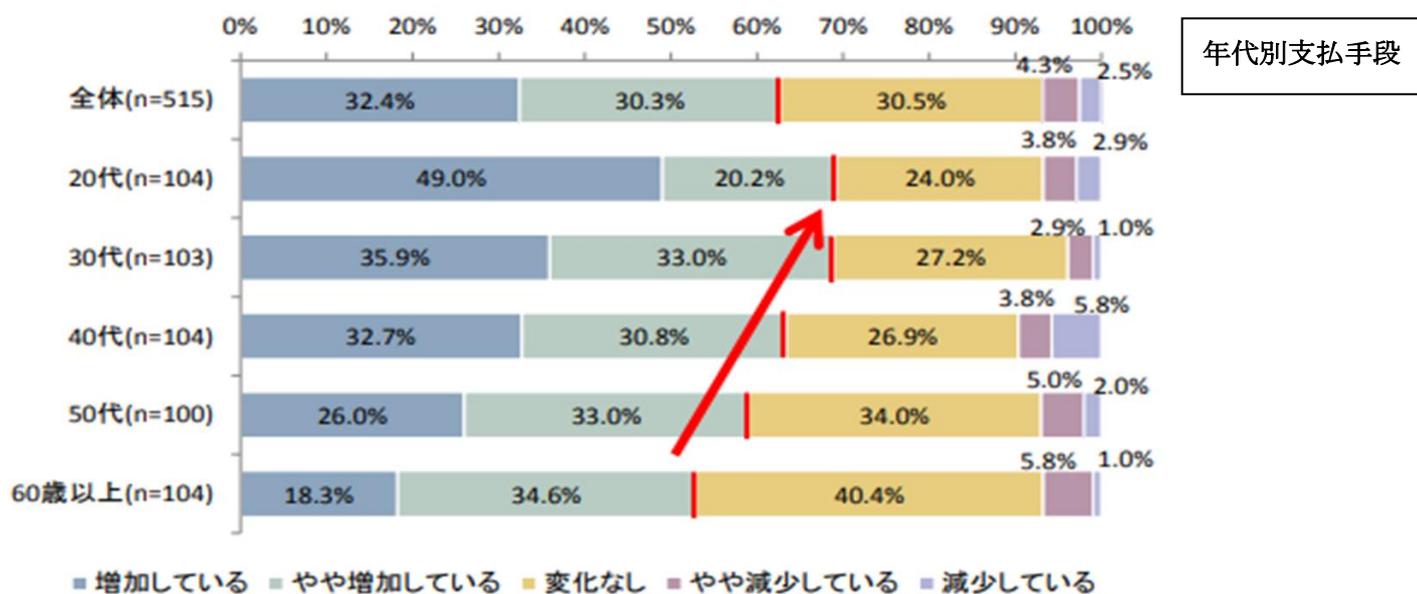
2. 研究テーマの現状分析 (歴史的背景、マーケット環境など)

海外の国々に比べ日本のキャッシュレス決済比率はとて低く、消費者の利便性向上や現金のハンドリングコストを下げるためにもキャッシュレス化を促進する必要がある。

また、2020 年に開催予定の東京オリンピックに伴い、多くの訪日外国人が観光に訪れると予想されており、訪日外国人の多くはキャッシュレス決済のほうが現金決済よりも慣れ親しんでいるので、訪日外国人に向けて利便性の向上を目指す必要がある。

そして、キャッシュレス決済比率は増加しているものの、世代ごとにより増加率は大きく違い、シニア層になるほどキャッシュレス化は

進んでいないとわかった。



3. 研究テーマの課題

どのようにしてキャッシュレス化を促進するかが大きな課題となった。

人口の27%が65歳以上の超高齢社会の日本において、キャッシュレス化を促進するためにはシニア層のキャッシュレス決済を増加させるのが必要不可欠である。

また、シニア層のキャッシュレス化いかにして促進するかという課題が生まれた。

キャッシュレス決済手段として、クレジットカード、デビットカード、電子マネーなど様々な種類があり、それぞれにメリットやデメリットがあり、どの決済手段がターゲットであるシニア層に使いやすいか馴染みやすいかという考える必要があった。

4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

シニア層が多く所持している身近であるシニア向けスマホに着目し、シニア向けスマホにキャッシュレス決済機能を搭載することでキャッシュレス化促進を目指した。

そしてキャッシュレス決済方法として、使いすぎないことや不正利用された時の事を考慮してリスクが限定的であり、近年大幅に利用率が増加している電子マネー型を採用することにした。

また、利用する電子マネーはインタビューの結果、多くのシニア層が口座を所有しており、チャージをする店舗が非常に多いゆうちょ銀行の「mijica」に決定した。



5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

実際にシニア層の方にキャッシュレス決済について及びシニア向けスマホについての調査を、サービス付き高齢者向け住宅麗しの杜光ヶ丘様にてインタビューさせていただきました。

インタビューの結果、シニア層においては新しい事をするのは難しく感じる方が多かったです。なのでより簡単にわかりやすく使いやすいものを作るのが重要であると再認識した。

6. 結果や今後の取り組み

多くのシニア層の方が日々の買い物での不満やより便利な生活を求めていることがわかったので、より便利な世の中にするために、また日本のキャッシュレスを促進するために、今回の研究をきっかけにして、実際にシニア向けスマホにキャッシュレス決済機能が搭載されるように、研究や調査を進めたい。

7. 参考文献

<参考文献>

日経新聞 2018年7月20日朝刊

経済産業省「キャッシュレス社会への取り組み」

<参考ウェブサイト>

経済産業省「キャッシュレス・ビジョン」

<http://www.meti.go.jp/press/2018/04/20180411001/20180411001-1.pdf>

社会実情データ図録

<https://honkawa2.sakura.ne.jp/5098.html>

総務省統計局「年齢各年齢別人口」

<http://www.stat.go.jp/data/jinsui/new.html>

三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング「キャッシュレスの多様化の動向整理」2018

http://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_policy/policy_coordination/internet_committee/pdf/internet_committee_180706_0002.pdf

ドコモ HP 報道発表用資料

https://www.nttdocomo.co.jp/info/news_release/

ゆうちょ銀行 HP

https://www.jp-bank.japanpost.jp/kojin/card/mijica/kj_crd_mij_index.html

<企画シート作成上の注意>

※本企画シートは審査の対象となり、予選会・本選の前に、実行委員会から審査員(ビジネスパーソン・大学教員)の方々に事前にお渡しいたします。

※本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1チーム・1点提出してください。また、インナー大会終了後、プレゼン部門にご協力いただいている日経ビジネス様(株式会社日経BPマーケティング)に大会結果ページを作成いただいております。大会結果ページにはチーム名やご提出いただいた本企画シートが掲載されます。

※本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1~7以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。

※本企画シートは、インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項と企画シート作成上の注意を含め、4ページ以内に収めてください。実行委員会から審査員に渡す際は、A4サイズでプリントし、4ページ目までをお渡しします。

※大会参加申込み時点から、チーム編成の変更(チームの人数・交代など)は、「不可」とさせていただきます。ただし、チームメンバーの留学等やむを得ない事情でチーム編成に変更が生じる場合は、実行委員会(プレゼン局)にご連絡ください。実行委員会側で協議のうえ、ご返答いたします。なお、参加申込書提出時からのチーム名変更は「不可」とさせていただきます。

※企画内容は、未発表の(過去に他誌・HPなどに発表されていない)ものに限ります。ただし、学校内での発表作品は未発表扱いとなります。

※商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、版権の使用許諾を得てください。日本学生経済ゼミナール関東部会・日経BP社・株式会社日経BPマーケティングは一切の責任を負いません。

※書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先(使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など)を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Webサイト上の資料を利用した場合は、URLとアクセスした日付を明記してください。

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

※パワーポイント内で動画を使用する場合は、必ず「有」とご記入ください。「有」の場合は使用するスライド番号も明記してください。動画を使用する際の注意事項は参加要項に記載しております。

※成果物を使用する場合は、必ず企画シートにご記入ください。企画シートにてご記入が無い場合、発表当日のご使用を「不可」とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

↑ ここまでを4ページ以内におさめて、ご提出ください